

# 河南町 橋梁長寿命化修繕計画

2024年(令和6年) 4月作成

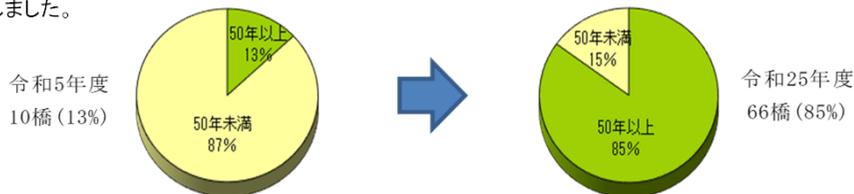


橋梁について点検を行い、損傷の程度を調べて修繕の時期・費用について計画しました。

## 背景・目的

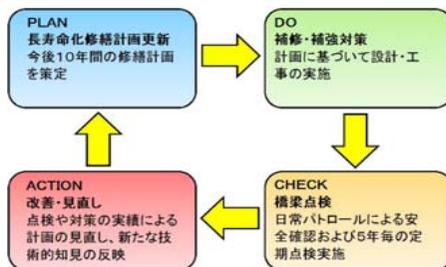
○ 河南町が管理する町道に架かる橋梁は78橋あり、このうち建設後50年を超える高齢化橋梁は、令和5年度時点で10橋(全体の約13%程度)に過ぎませんが、20年後には66橋(全体の85%)に達します。その後は老朽化が進展し、一斉に架け替え時期を迎えることとなり、短期間に大きな財政負担が生じることになります。

○ このような状況を踏まえ、河南町では、定期点検による橋梁の状態の把握、予防的な補修および計画的な架替えを着実に進め、橋梁の長寿命化と橋梁の補修・架替えに係る費用の縮減を図りつつ、予算の平準化を図り、道路ネットワークの安全性を確保していくために長寿命化修繕計画を策定しました。



## 長寿命化修繕計画の方針

- ・将来にわたって持続的に安全性を確保することで、ライフラインとしての信頼性を確保
- ・安全性を確保するため、定期点検・日常点検を確実に実施し、橋梁の劣化損傷を持続的に把握
- ・維持管理のトータルコストの縮減及び予算の平準化を図るため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的な維持管理を行う

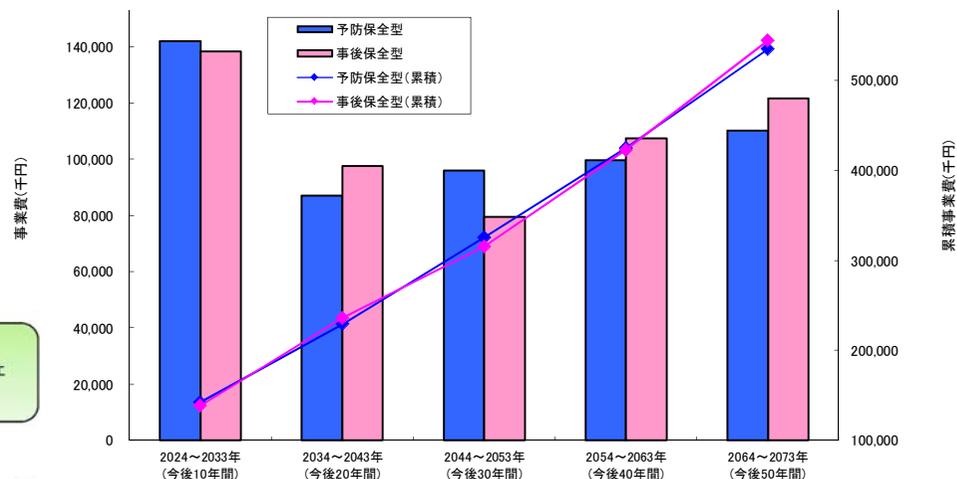


## 劣化予測と対策時期

- ・橋梁の主要部材(主桁、床版、下部工)において、劣化予測を行い、今後50年間に、各橋梁において、緊急措置が必要な段階とならないように対策を行う
- ・劣化予測の結果対策箇所が同時期に集中する場合は、劣化予測結果と社会的影響度から評価を行い対策を行う

## 計画の効果

長寿命化の修繕計画により計画的に修繕・架け替えを行うと、その効果は令和5年度の試算では、今後50年間で9.4億円程度の費用の節約が可能です。また、橋梁の寿命も延長でき、適切に管理すれば100年以上に延ばすことも可能です。傷んでいる箇所を早期に発見し対処することで、補修の範囲や方法、材料費なども少なくなり、下図のように費用を節約することができます。



## 今後の取り組み

橋梁長寿命化修繕計画は、今後50年という長期間にわたる継続的な事業を想定したものです。現在の技術水準や点検精度を踏まえると、将来の予測精度は確実なものではありません。また、今後の交通量変動や技術基準の変化による各橋梁に求められる必要性能の将来予測は困難です。しかしながら道路の安全・安心の信頼性確保を図る上で、以下の取り組みの実施及び課題の解決が必要です。

- ・継続的かつ詳細な橋梁点検の実施
- ・橋梁長寿命化修繕計画の更新
- ・品質確保への取り組み
- ・費用縮減への取り組み